

ながとじん 長門人



笑顔で看護を

「熱血・新鮮力」

村田沙耶佳さん

むらた さやか/昭和57年生/通2区
岡田病院勤務

※仕事は 小さい頃から憧れていた看護婦さんになり、今年の春から整形外科病棟に勤務しています。何もかもが初めてで、まだ仕事を覚えることで一生懸命です。退院される患者さんから「ありがとう」と言われると嬉しいし、とても励みになります。

※どんな長門に きれいな海と空気、緑の多いところが好きです。この美しい自然をいつまでも残して欲しいですね。

※趣味は 映画鑑賞とドライブです。先日も友達と阿蘇まで紅葉を見に行ってきました。

※気をつけている事は 「笑顔」です。自分に余裕がないと笑顔が出てこないの、落

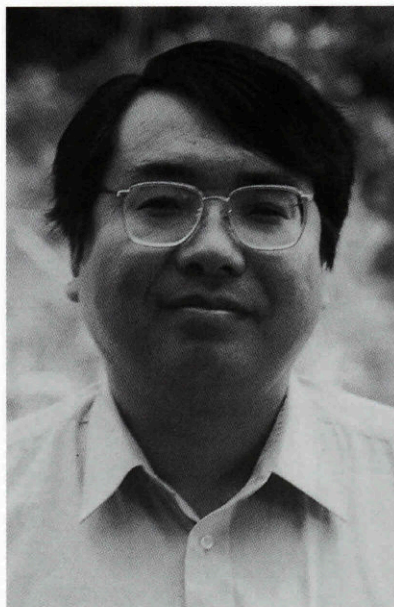


ち着いて笑顔で対応できるよ
うに心がけています。

※好きな食べ物 母さんの
手作りハンバーグです。

※結婚は 30歳までには(ホ
トはそんなに遅くちゃイヤな
んですけど・・・笑)

※自由に一言 これから寒くな
りますので、健康管理には気
をつけてください。



中野賢一さん

なかの けんいち/昭和34年生/上川西1区
長門市役所 市民生活課 介護保険係長

福祉用具をもっと身近に 「ちよつと小耳に」

「福祉用具
使っころるる
あなたの世界」
今年から10月1日が「福祉用
具の日」に設定されたことを記
念して、福祉用具の普及啓発を
テーマにした標語の募集があり、
全国から9千点を超える応募作
品の中から中野さんの作品がト
ップの最優秀賞に選ばれました。

中野さんは市役所で介護保険
を担当しているが、訪れる人に
応募をすすめていて自分でもや
ってみようと応募したという。
受賞の知らせに「応募したこと
も忘れていたのでびっくりしま
したが、とても嬉しい」また、
直接の担当者としては「福祉用
具が介護保険制度の中でしたっか
表彰されました。

り活用できるよう、使う人だけ
ではなく、行政も適切な対応を
していく必要があるのではない
でしょうか。私自身もそんな対
応ができるように日々努力して
いきたい」と話している。



表彰式の様子